

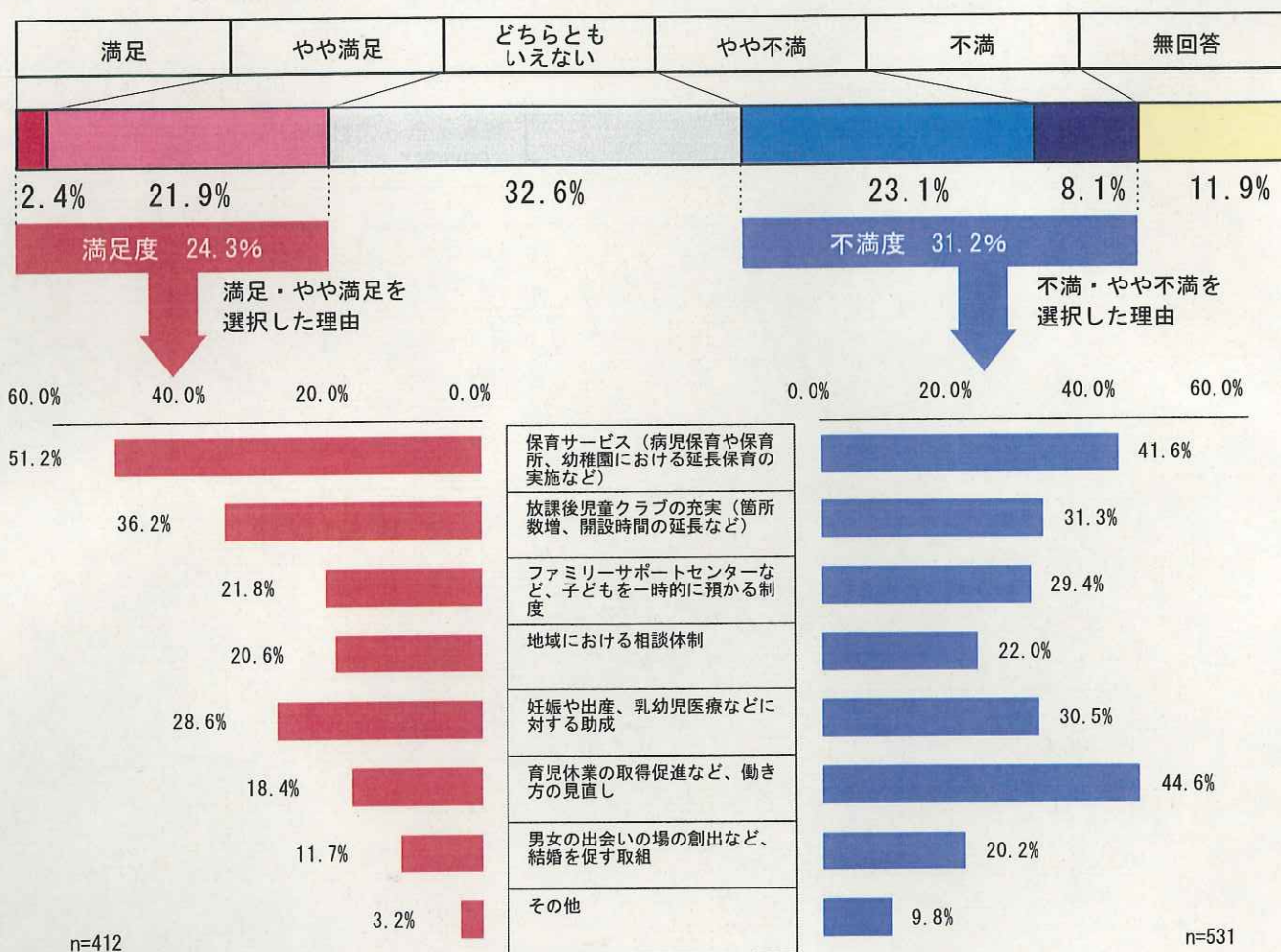
[問 5 詳細]

県の政策における分野ごとの満足度について尋ねた。

①はじめに、次の1から21までの分野ごとに、あなたが現在感じている【満足度】を1つだけ選んで○印をつけて下さい。

②また、そう感じる理由や背景を【取組の内容】から選んで、あてはまるものに3つまで○印をつけて下さい。

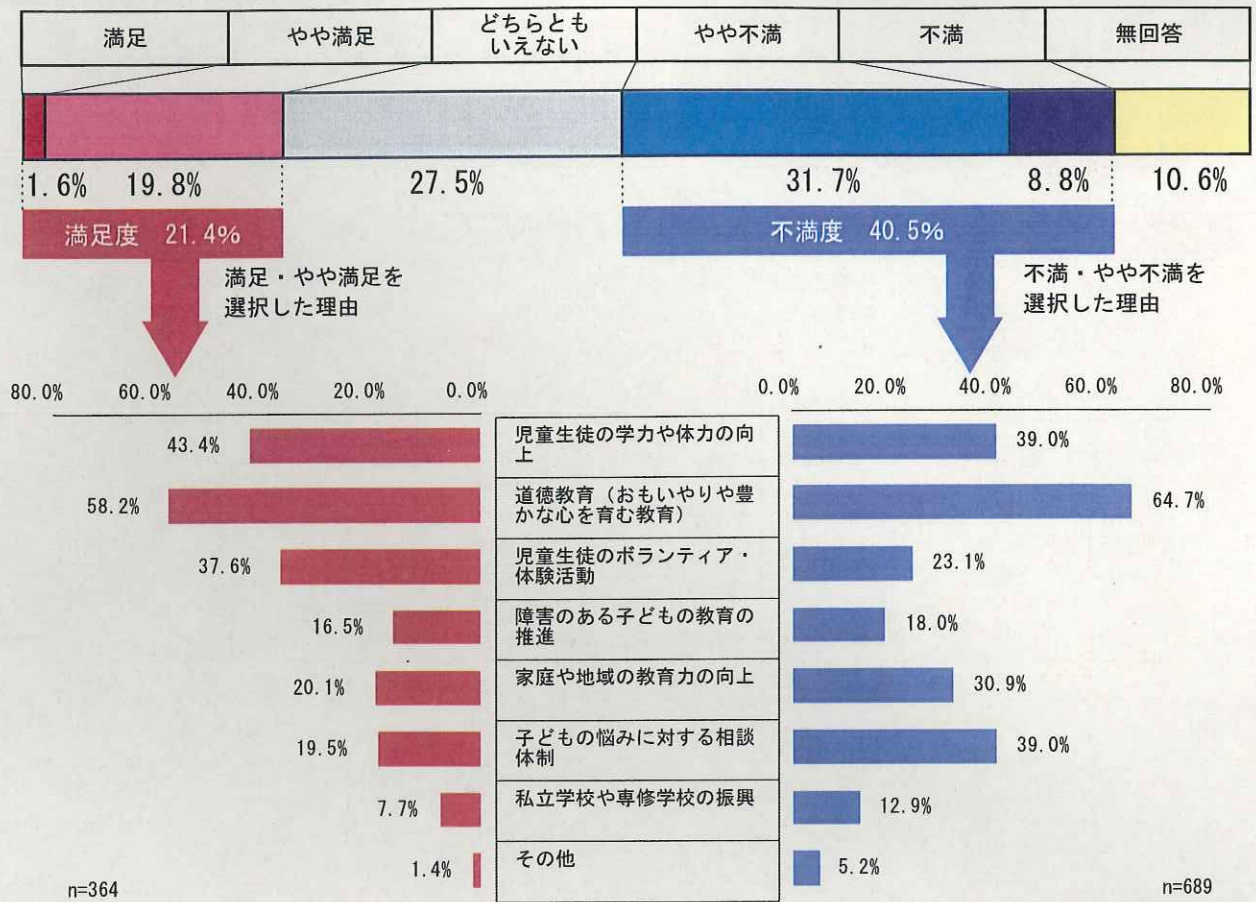
[5-1] 子どもや子育ての支援



【分析結果】

- ・ 不満度 (31.2%) が満足度 (24.3%) を 6.9 ポイント上回ったが、島原半島地域では、満足度 (30.7%) が不満度 (25.1%) を上回っている。
- ・ 不満度は 30 歳代 (39.6%) で最も高く、60 歳以上の年代では低くなっている (60 歳代 : 26.6%、70 歳代 : 15.5%)。
- ・ 満足度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「保育サービス」が最も多かったが、20~30 歳代では「妊娠や出産、乳幼児医療などに対する助成」の割合も多い。(20 歳代 : 41.9%、30 歳代 : 45.0%)
- ・ 不満度の要因をみると、全体では「育児休業の取得促進など、働き方の見直し」が最も多く、特に、20 歳代 (63.6%) が多い。「保育サービス (病児保育所、幼稚園における延長保育の実施など)」については、30 歳代 (53.7%) が最も多くなっている。

[5-2] 教育の充実

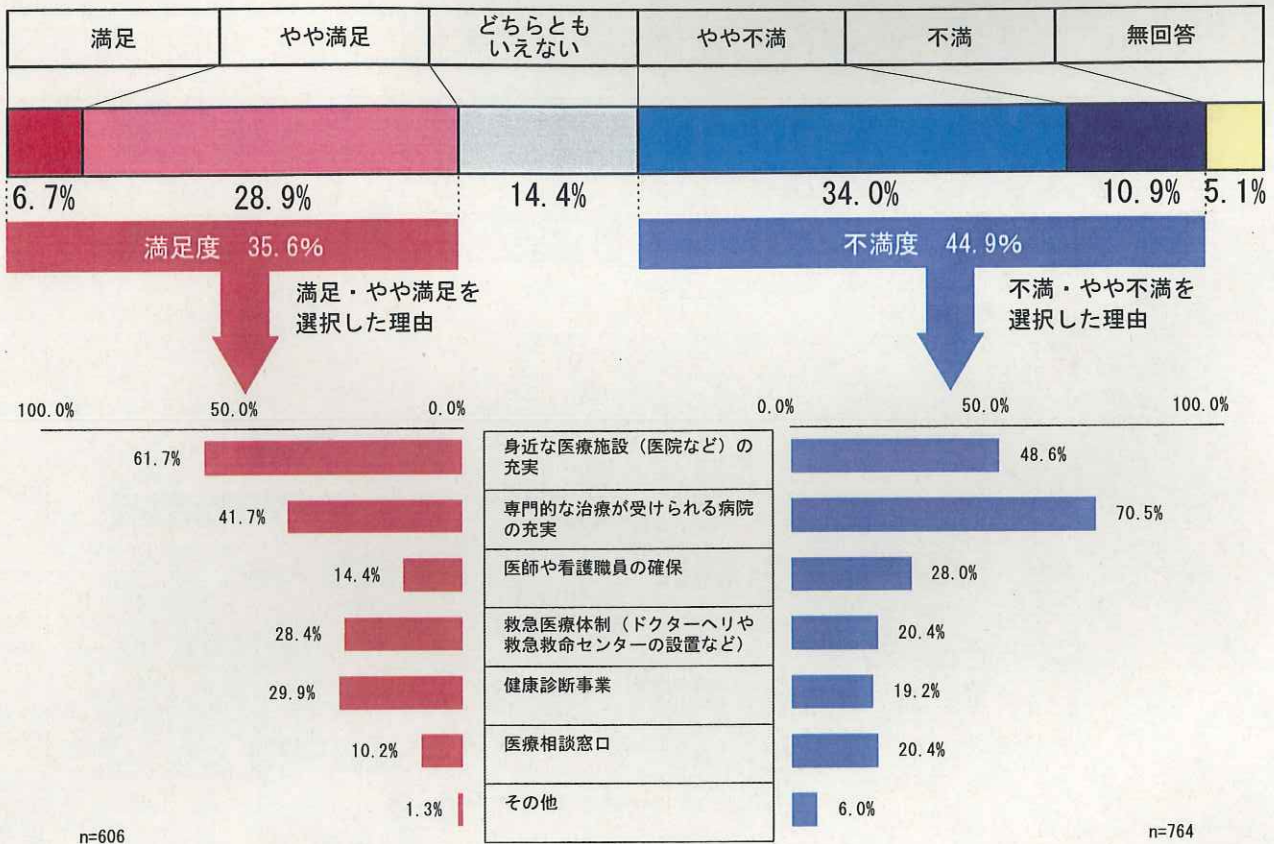


【分析結果】

- ・ 不満度 (40.5%) が満足度 (21.4%) を 19.1 ポイント上回った。
- ・ 島原半島地域では、他の地域に比べて満足度 (26.3%) が高い。性別では、男性 (44.0%) の不満度が女性 (37.9%) に比べて高くなっており、年代別では、40 歳代で満足度 (25.7%)、不満度 (49.7%) とともに他の年代より高くなっている。
- ・ 満足度の要因をみると、「道徳教育」が最も多かったが、40 歳代では「児童生徒の学力や体力の向上」(50.6%) が最も多くなっている。
- ・ 不満度の要因をみると、満足度の要因と同様に「道徳教育」が最も多かったが、40 歳代では「児童生徒の学力や体力の向上」(55.5%) が最も多くなっている。



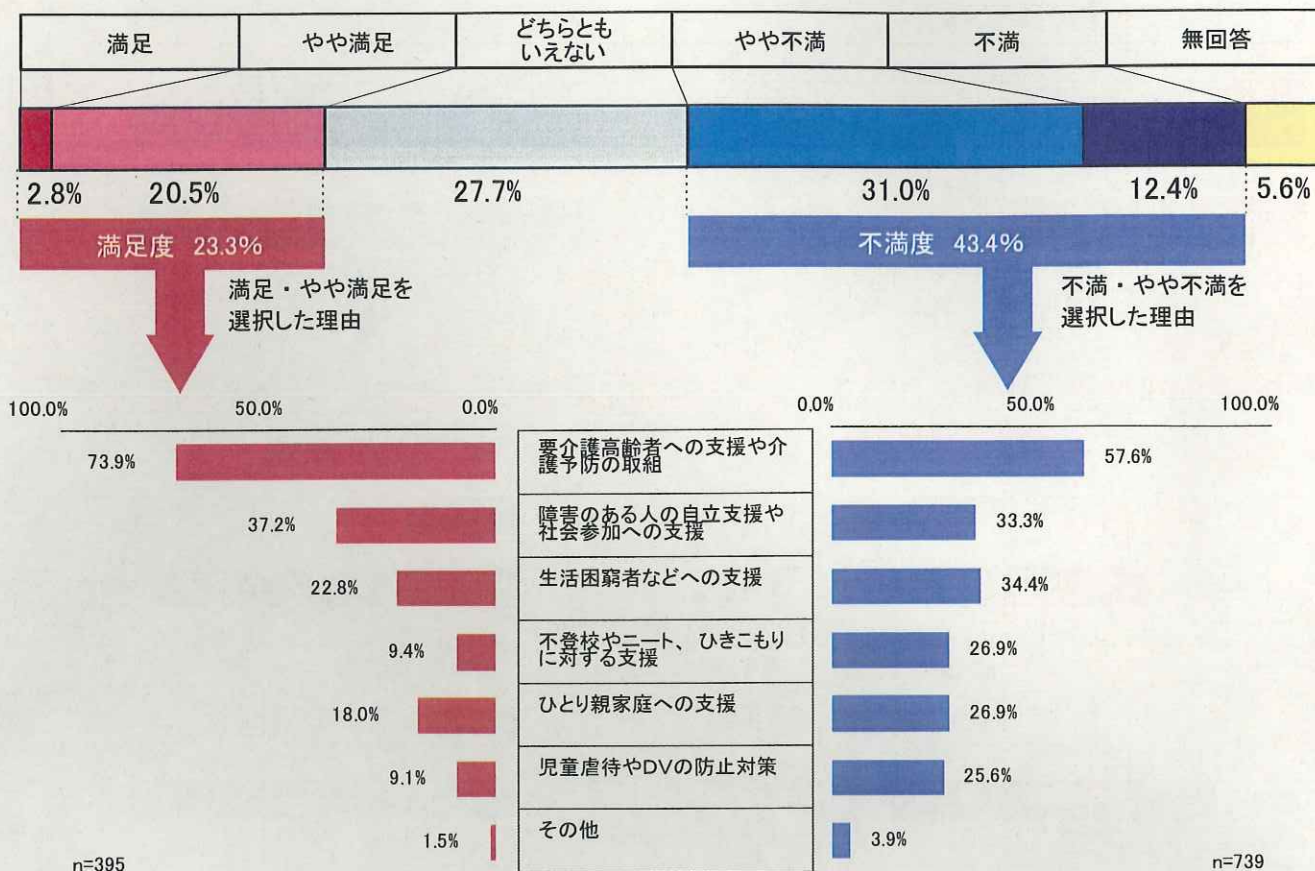
[5-3] 保健・医療の充実



【分析結果】

- ・ 不満度（44.9%）が満足度（35.6%）を9.3ポイント上回ったが、県央地域は、満足度（48.8%）が不満度（33.5%）を上回っている。また、60歳以上の年齢層で満足度が高く（60歳代：39.0%、70歳以上：44.7%）、70歳以上の年代では満足度（44.7%）が不満度（30.1%）を上回っている。
- ・ 満足度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「身近な医療施設（医院など）の充実」が最も多く、特に20～50歳代の割合が多くなっている。（20歳代：73.6%、30歳代：67.9%、40歳代：64.0%）
- ・ 不満度の要因をみると、地域や性別、年代を問わず「専門的な治療が受けられる病院の充実」が最も多くなっている。

[5-4] 福祉の充実

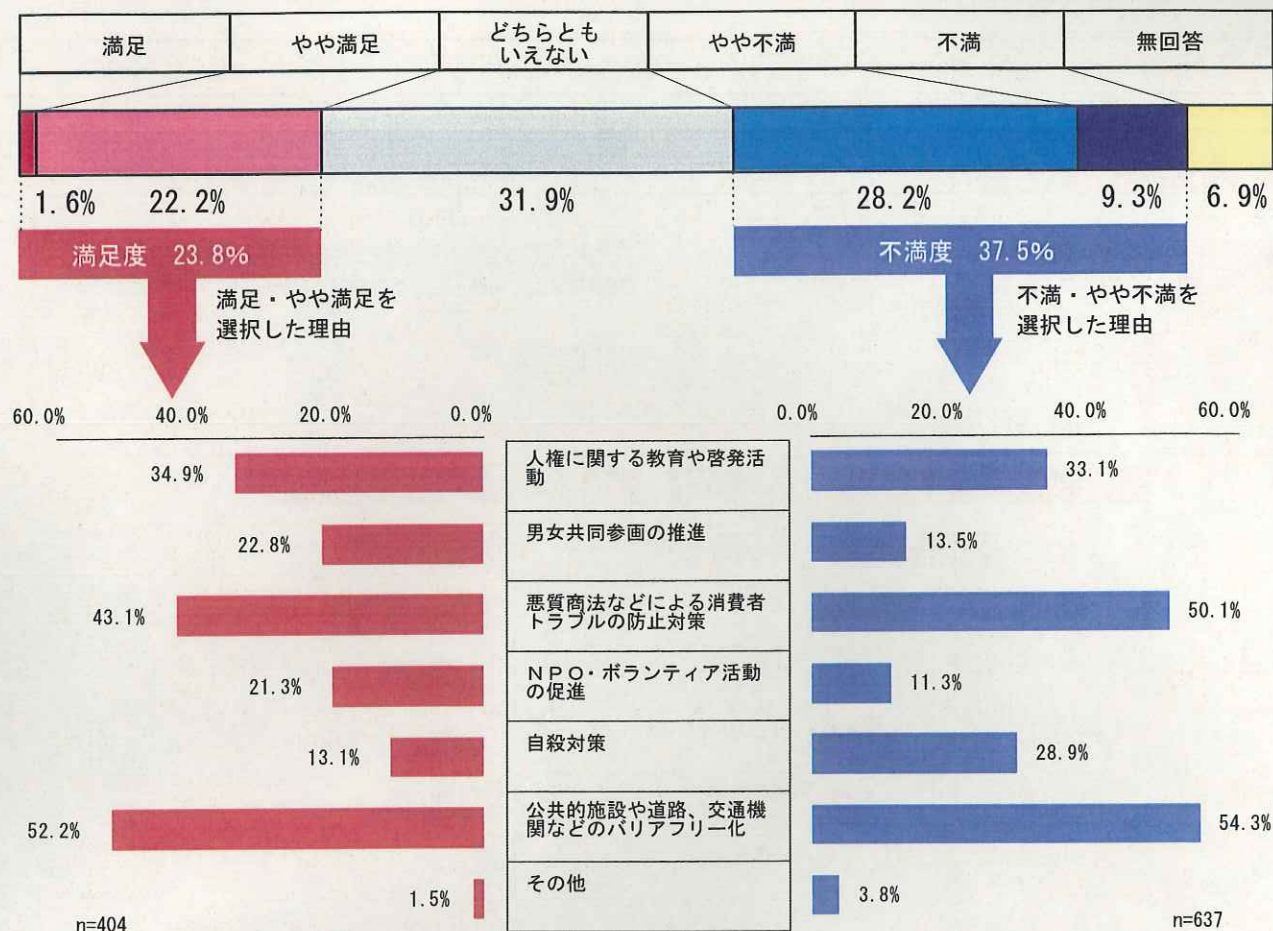


【分析結果】

- ・ 不満度 (43.4%) が満足度 (23.3%) を 20.1 ポイント上回ったが、70 歳以上の年代では満足度が不満度を上回っている。性別をみると、男性 (26.1%) の満足度が女性 (20.9%) に比べて高くなっている。
- ・ 満足度の要因をみると、「要介護高齢者への支援や介護予防の取組」は全ての地域で 7 割を超え、年代別では、50 歳以上が多くなっている。(50 歳代 : 83.8%、60 歳代 : 75.7%、70 歳以上 : 77.3%)
- ・ 不満度の要因をみると、満足度の選択理由と同様に、地域や性別、年代を問わず「要介護高齢者への支援や介護予防の取組」が最も多く、特に、50 歳以上の年代で多くなっている。(50 歳代 : 64.4%、60 歳代 : 59.6%、70 歳以上 : 71.4%)



[5-5] 人にやさしい社会づくり



【分析結果】

- ・ 不満度 (37.5%) が満足度 (23.8%) を 13.7 ポイント上回った。
- ・ 男性 (41.1%) の不満度が女性 (34.8%) に比べて高く、年代別では、50 歳代の不満度 (46.4%) が他の年代に比べて高くなっている。
- ・ 満足度の要因をみると、「公共的施設や道路、交通機関などのバリアフリー化」が最も多く、特に、30 歳代 (63.6%) で他の年代に比べて多くなっている。「悪質商法などによる消費者トラブルの防止対策」は女性 (47.7%) が男性 (38.3%) に比べて多く、年代別では、60 歳以上の年代が多くなっている。(60 歳代 : 55.6%、70 歳代 : 55.2%)
- ・ 不満度の要因をみると、全体では「公共的施設や道路、交通機関などのバリアフリー化」が最も多かったが、島原半島地域では「悪質商法などによる消費者トラブルの防止対策」(51.5%) が最も多くなっている。